

2015年10月30日

# 横浜市立青葉台中学校 学校だより 自由と規律 -11月号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail: [y2aobada@edu.city.yokohama.jp](mailto:y2aobada@edu.city.yokohama.jp)

発行者: 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

さあ、2学期も中盤です。10月、文化発表会、合唱コンクール、が終わりました。みんなで感動して、そのぞれの人の心にそれぞれの出来事、風景、音声などが残ったと思います。当然、僕にも青葉台中での1年目としての10月の景色が残りました。皆さんはどんな景色が残っていますか？11月マラソン大会が、次に続きます。きちんと体調管理して次の行事も乗り越えていきましょう。

2学期の最終コーナーに向かい、さらに、集中して日常生活に取り組んでいただきたい。クラスごとに目標を新たに認識し、全員で、見つかった課題を解決し進めていきましょう。その中でも、繰り返しになりますが、重要なものの事項に体調管理があります。まず規則正しい生活を送り、しっかりと日々の生活を送りましょう。いつもの合言葉:「ケジメと集中」で進めていきましょう。

今月はアクティブラーニングについて 記載します。

オーストラリアで見て、実際に接した授業は、これから日本でも盛んに、語られることになるであろう(新学習指導要領に中心的に盛り込まれる)アクティブラーニングに近いと先月も報告しました。

では、アクティブラーニングとは何でしょうか？要は教え込み型ではなく、子どもから自発的に考えて、自発的に意見を述べるということでもいいのではないのでしょうか？また、いろんなことに体験活動を盛り込んでいくことです。

日本は、戦後右肩上がりの日本経済をささえるために、組織の中で、特別に目立ったことはしなくてもいい、皆で同じ方向に向かい、黙々と自分に割り当てられた役割をこなす人材を育成してきました。そうすることで、知識を伝え、それを適材適所で発揮してきて、全体がうまくいきました。そういう人を育成する教育をしてきました。今も東南アジアのこれから成長する国々は人口も多く、その路線を継承しています。

片や欧米では、早くからその国民性のなせる技なのか、できるだけ議論・討論をし、相手の意見をきき、自分の意見をぶつけるというスタイルでやってきていました。きっと国が陸続きで民族もいっぱいあり、コミュニケーションを取らないと日々の生活が成り立たない。そういう生活が国民性になったのでしょうか？日本は今になって、そういう国を追って行かないといけなくて考えているのでしょうか。①世界がグローバル化してきたと言って、②人口が減り、国内での需給のバランスがとれないから、海外市場を狙うという経済界の要請があるからと言って、③外国で働かないと日本で働き口がないと言って、などなどの理由で、世界で通じる人材を育成することにシフトするようになっています。今、学校教育の中では今までの教え込み型授業に工夫を凝らすようにと、うるさいほど言われています。実際次回改訂される思考力、判断力、表現力を備えないといけなくてという概念が今まで以上にしっかりと盛り込まれるようです。しかし、いつも言っているように、クラスの定数は昔のままです。それがうまくいくか行かないかは教員の力量にかかっています。国はずるいと思います。教員たちは切磋琢磨し、自分の預かる子どもたちにその力をつける努力はしています。当然もっと加速していきます。しかし、本当に効果が出るのは約20人程度の人数であると先月書きました。が、この状況では改善されそうもありません。そういう中で最大の効果を出さなければいけないのです。出現する効果はかなり小さくなるような気がします。10月下旬には財務省は公立小中学校の教職員の定数を今後9年間で約3万7千人減らすような計画を持っていると報道もされています。

再度アクティブラーニングについて整理しておきます。「教員が講義形式で一方的に教えるのではなく、生徒が自分から進んで、さらにお互いが協力しながら学ぶ指導・学習方法の総称。具体的には、体験学習、問題解決学習、調査学習などがあり、討論やグループワークなどをさすものです。」また、これが今になって特に取り上げられている理由の一つに、今の中学1年生から大学入試の改革の年にあたるからという理由もあるようです。

このようなアクティブラーニングも、本校では先取りしていると思っています。本校では、国語では、ディベートの授業、社会では、公認会計士の授業や新聞記事の自分を加えた発表など、総合では職業講話をはじめとして、数学、英語、社会他の教科においても、生徒たちが意見を述べあえるチャンスの多い授業を展開しています。これにより、各人の知識の増強ばかりでなく日常から、考える力も身につける努力を行っていますので、アクティブラーニングと言ってもよいし、まさしくオーストラリアで行われていた授業に通じるものを感じています。

ご家庭でも、生徒たち自身も、与えられた問題の答えを求める事だけに汲々しないで、いろんな角度から物事をみて、考えて、仲間と意見交換し、自分の答えを作る訓練をしてほしいと思います。これらを心掛けてみると、欧米人のような考え方をできるようになります。ともかく、先月示しましたような横並びが良しとする日本人の美德を維持しながら、欧米人をはじめとした外国人の発想を持っていきましょう。そうすることは世界の中で、とびぬけた国になること必至です。青葉台中の生徒たちは、そういう学校にいるんだという自負を持って、自分で意識して、問いかけ、議論をするようにしてほしいです。

○このコーナーではいろんな数字(データ)を記載、その数字を見て考えていただきたいのです。

さーどうでしょうか？

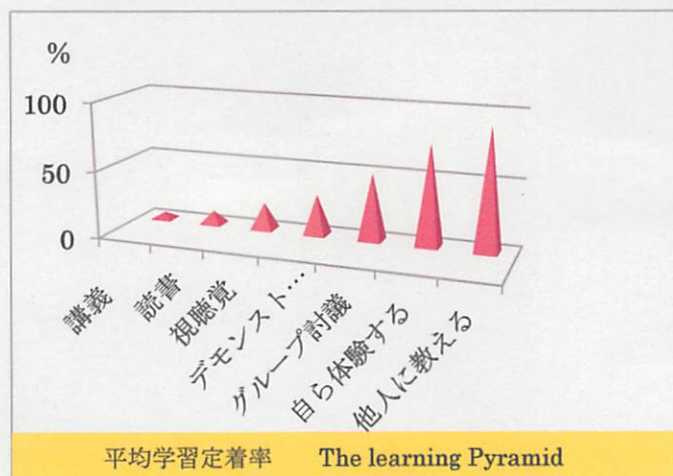
今月は、上に書いたアクティブラーニングのことについてのデータを検証しましょう。

少し前、今年度の3年生の全国学習状況調査についてプリントを出しました。それを部分的に再掲します。例年通り、全ての教科(国語、数学、理科)で平均を大きく上回っています。

平均正答率		単位:平均正答率%				
		国語 A・知識	国語 B・活用	数学 A・知識	数学 B・活用	理科
青葉台中	a	86.1	76.4	78.7	58.8	65.9
神奈川県		76	66.5	65	43.3	52.8
全国	b	75.8	65.8	64.4	41.6	53
全国との差	a-b	10.3	10.6	14.3	17.2	12.9

- ・平均正答率を見ると、全ての教科、カテゴリーで10ポイントを超えています。
- ・全般的に平均を超えてできていますが、特に全国と比べて平均が高いところは以下の点でした。  
 国語 A: 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。  
 国語 B: 複数の資料から適切な情報を得て自分の考えを具体的に書く。  
 数学 A: 与えられた式を用いて体積を求めることができる立体を理解している。  
 数学 B: 与えられた表・式を用いて問題を解決する方法を数学的に説明することができる。  
 理科: オームの法則を使って抵抗の値を求めることができる。

この力を形成している原動力は、青葉台中の授業の仕方に立脚していると思います。上にも書いた方法の授業を展開しています。各教科で更に方式を探り、レベルアップをしていきたいと思っています。



左の図のように、学習の定着率についてのデータを記載します。ラーニングピラミッド(平均学習定着率) (The learning Pyramid、アメリカ National Trainins Laboratories) と呼ばれているデータがあります。

習ったことが、その手法・手段によってどの程度、記憶に定着するかということを行った実験の結果のグラフです。

講義だけの授業・聴いた時: 5%、読書・読んだり見た時: 10%、視聴覚・聞いてみた時: 20%、デモンストレーションを通して: 30%、グループ討議した時: 50%、自ら体験した時: 75%、他人に教える時: 90% という結果が得られています。

だからいつも言うような講義型授業の意味は低いのです。そこですでに取り組んでいるアクティブラーニング型をどんどん取り入れていきます。

○ 横浜市立中学校の個別支援学級、三ツ沢で合同体育祭を行いました! 10月1日

当日、持久走の途中で(12時ごろ)雨が本降りとなり、それ以降の種目(リレーなど)は中止になりました。午後を楽しみにしていた生徒たちは、とてもがっかりしていました。午前の部では、50m走などに歓声をあげて元よく参加しました。多くの保護者の方々にも参加いただき声援いただきました。感謝いたします。

結果として、女子持久走で、1年吉井麻由さんが7位、1年木村紗英さんが8位、3年芹沢美希香さんが9位となりました。とても頑張りました。おめでとうございます。

○ ふれあい運動会 10月18日開催されました。

今年も恒例の青葉台連合自治会主催の【ふれあい運動会】が本校グラウンドで開催されました。当日は小学校の運動会と重なったり、1日前の降雨の関係?で少なめの参加者だと言われていましたが、多くの老若男女の方が4色の組に分かれ参加されて、玉入れ、綱引き、かけっこ、パン食い競争、O×クイズなどを、積極的に親睦を深めながら楽しめました。冒頭、山川会長から「けがをしないように注意して、地域の絆を強めるきっかけとしてください」とご挨拶をいただきました。当日は青葉区役所から、小池区長、岡本課長(地域連携・こども担当)をはじめとたくさんお越しいただき当地区の方と一緒に運動して頂きました。秋のゆったりとした良いひと時になりました。

○ 地域の清掃を実施! 10月24日

青葉台地区社会福祉協議会主催の地域清掃が行われ、本校では部活動に参加の多くの生徒も協力しました。本校は定例的に桜台公園近辺の清掃を行っています。今回も青葉台中から桜台公園までの範囲を6コースに分け清掃しました。剣道、バレーボール、野球、男子ソフトテニス、バドミントン、サッカー、吹奏楽の各部から、合計170人程度の生徒と顧問の先生の参加で、地域をきれいにしました。青葉台の全地区での清掃は美しい当地区を維持していける素晴らしい活動の一つだと思います。清々しい環境を維持するために普段から心掛けて生活をしていきましょう。

## ○ 10月28日文化発表会、29日合唱コンクールが行なわれました

文化発表会、合唱コンクールに取り組み、大成功だったと思います。28日は本校体育館で感動し、29日は海老名市文化会館で感動しました。

山で例えると、本校の最高峰になると言っても過言ではない行事だけあって、皆の熱の入れ方も違うし、意気込みが大きかった！練習、準備期間からも、「おや」と思わせる空気が漂ってきて、期待感は大きく膨らみました。実際、終わってみると、どうでしょうか？心地よい疲労感があるのではないのでしょうか？30日の朝会では、そういう雰囲気体育館にむんむんしていました。そう！皆さんよく頑張りました。合唱コンで良い結果を取めた人たちは、本当におめでとう！しかし、結果以上に、そのプロセスをみんなが成し遂げたということに大きい価値があります。これらが、これからの皆を形作ります。仲間でひとつの気持ちになり、一つのことに取り組んだこと、仲たがいをした、知恵を出し合った、そして克服した、満足できない部分も多数あるが、ともかく乗り越えられたこと。これらの経験が、生きてきます。素晴らしい会を提供してくれてありがとうございます！保護者の方々をはじめとして、会場にお越しいただいて子どもたちに応援していただいた多くの方々ありがとうございました。お持ちになっているご意見等をお知らせいただけるとありがたいです。実行委員の生徒たちはほんとに手際よく働いてくれました。役割を担ってくださったPTAの方々にもありがとうございます。みんなの力が1つのベクトル方向を向き、良い時間を創出できました。改めて、皆で反省すべき点を反省し、また、より良いものとしていきましょう。たくさんの表彰もありました。おめでとうございます。(敬称略です)

\* 青中ノベル賞：1年・大川志帆、櫛野優奈、佐伯麻衣、奈須川愛衣、阿部百花、大倉結花、藤城愛子、

奥田菜々美、小山瑞希、2年・成良資、鈴木梨央、岩元悠大、3年・福士真生、青野賢太郎、川口隆人

\* 合唱コンクールスローガン賞：佐久間彩

\* 合唱コンクールの結果：最優秀賞 3年3組、2年4組、1年4組 優秀賞 3年4組、2年1組、1年5組  
でした。入賞されたクラスの方は、おめでとうございます。

## ○ 3年生、進路を真剣に考える時期。

進路について実際に行動する時期になりました。最後は卒業式で本校を巣立っていきます。卒業式は今年度は3月14日(月)です。予定では、月曜日になっています。式をわくわくとして迎えるために、今からモードを入学試験を見据えた生活、行動に移行してください。と言っても特にこれをしろ、あれをしろということではありません。健康第一で、規則的なおくろ、やはり勉強を念頭にしてください。ともかく、時間を無駄に使わないこと。ご家庭でも、暖かく見守り、過度な干渉は思ったほど効果を表さないとします。よろしくお願ひします。

### \* 部活動などで頑張る生徒たち(敬称略)

今月は以下のようにたくさんの報告ができます。うれしい限りです。みなさんおめでとうございます。

#### ◎ 席書大会(夏休みの大会です。)

硬筆の部 1年 優秀 辻侑季 3年 佳作 前田里奈子

毛筆の部 2年 優秀 河合千菜都 佳作 堀 稚菜 3年 佳作 滝川真子

#### ◎ 神奈川県英語弁論大会 本田彩夏

◎ 人権作文コンテスト 入賞 一之瀬 真希、長澤 明香里、

#### ◎ バレーボール部 青葉区秋季大会 第3位

青葉区優秀選手 對比地 凌

#### ◎ バスケットボール部 男子 青葉区大会 新人戦 第2位

青葉区優秀選手 3-2 兼保 翔太、3-4 平岡 温人

#### ◎ バドミントン部 男子 青葉区秋季団体戦 第3位

#### ◎ バスケットボール部 男子 横浜市 Cブロック新人戦 第5位(市大会に参加)

男子 横浜市 Cブロック新人戦 さわやか賞

### \* 生徒会の活動 (敬称略)

\*文化発表会、合唱コンクールに向け心をひとつに、結集し進めました。

文化発表会のスローガン：瞬彩～この瞬間、全てを輝かせ～

素晴らしい歌声、素晴らしい発表会を実現できました。みんなも満喫したと思います。

\*選挙が行われ、新生徒会が発足しました。選挙管理委員会が掲げた活動重点テーマは「無効票ゼロ～公平な選挙の実現」でしたが、みなさんの協力で実現しました。誇らしいことだと感じます。

新生徒会役員は次のようになりました。皆さんよく協力して、素晴らしい活動を実現し、より良い青葉台が生まれるように協力、努力していきましょう。

会長：山下智輝

副会長：下村勇貴、渡邊芽依

書記：立石翔大、松浦実春

会計：石津大翔、奥田菜々美

